

1. 指定管理者名	社会福祉法人多治見市社会福祉協議会
2. 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)保育の実施に関すること(通常運営・延長保育・障がい児保育・一時保育・地域子育て支援センター事業) (2)施設及び設備の維持管理に関すること

4. 採点表		評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)		目標値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点								
			②利用人数	10	目標値比(注) 105%以上:10点、105%未満～95%:8点、95%未満～85%:6点、85%未満:4～0点	(1)保育の実施に関すること ①入所年間延べ人数 90名(0歳児 6名 1歳児12名 2歳児13名 3歳児20名 4歳児20名 5歳児 19名 うち支援を必要とする子8名) 年間保育日数 292日 ②延長保育年間延べ人数 1769名 【令和6年度 1794名】 ③土曜保育年間延べ人数 283名 【令和6年度 437名】 ④私的契約・広域入所児無し	105%以上 10点	・定員90名に対して年間を通じてほぼ満員を受け入れており、支援を必要とする子も積極的に受け入れている。 ・延長保育、土曜保育も前年度から利用人数は減ったものの、保護者のニーズに応え、着実に実施している。	10点				
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	(2)保育内容に関すること ①特別保育…支援児担当保育士を配置し、個々に応じた適切な支援を実施した。(支援児担当職員4名) ②多治見市が推進する「いきいき遊び」や「いきいき運動遊び」などを年間を通じて取り組み、集中力と体力の向上を意識した活動を積極的に行った。 ③異年齢(なかよしグループ)での交流を行い、思いやりやあこがれの気持ちを育てる取り組みを行った。【朝の活動のいきいき遊び(毎週火・木曜日)、夏まつり等の行事 3歳から5歳児の6・7名グループ】 ④地域の公民館祭りに参加したり、中学生・高校生のボランティアを通して多世代との関りの大切さを知るとともに、5歳児は障害者センター利用者と、クイズやゲーム、一緒にうたを歌ったり、楽器の演奏を聴いたりして交流を行い、障がいを知るきっかけとした。 ⑤池田花クラブさん協力のもと「花壇作り」を行った。(5歳児)また、池田小学校との交流では、5歳児が12月と3月に5年生と1年生と交流することが出来た。 ⑥食育の実施 バイキング給食時に職員が食育に関するお話や劇を行い、食品群について学ぶ機会を設定。4・5歳児が、園庭や裏の畑で野菜栽培を行い、5歳児においては調理体験を実施した。また、毎日給食のサンプルを展示し、親子間で食について話す機会を促した。(子どもが育てた野菜を給食に入れる日もあった。) ⑦保護者参観日・懇談会(5月・2月)の実施、個別懇談(6月～7月)の実施、祖父母参観日(11月)を実施。祖父母参観は、なかよしグループ(異年齢グループ)で一緒にゲームをしたり、祖父母も交えて体を動かして楽しんだ。また、各クラスでの様子も観てもらい、最後に事前につけておいたプレゼントを渡して、楽しいひと時を過ごした。 ⑧給食については、保育幼稚園課管理栄養士の指導管理のもと、主任保育士と調理員が中心となってアレルギー対応を行うとともに、職員に周知・徹底し、安心安全な給食の提供に努めた。3歳児保護者対象の給食試食会は、5月の参観・懇談会後に実施。(9家庭13名の参加) (3)その他 ①職員全体会議を月1回実施するとともに、リーダー(未満児・幼児・調理員・子育て支援センター)を設置し、定期的リーダー会議や年齢別会議を実施した。 ②多治見市保育研究会(年齢部会・支援児部会)・多治見市幼児教育研究会(自然部会)に参加。 ③公立園長会に参加し情報交流やグループ討議を行うなど保育について共有を行う。内容を職員に周知し、保育幼稚園課や公立保育園の対応に準じて、園活動や事業を行った。 ④運営懇談会2回実施【(6月・2月) 2月は給食の試食と共に、園評価をしていただいた。】 ⑤苦情等の窓口は、年度当初に保護者に周知するとともに、保護者の目の届く場所に常時掲示している。 ⑥防災計画を作成し、避難訓練(火災・地震・水害・土砂災害・防火管理者による自主訓練2回)を実施。1月から消火栓訓練を毎月実施。防犯訓練については年4回実施。うち、不審者侵入を想定した訓練を2回行った。(1回は自主訓練、2回目は多治見警察署の生活安全課に依頼し、実施したことで、指導や評価を受けることができ、職員の意識の向上に繋がった。) ⑦園児の健康管理については、日々の健康観察のほか、嘱託医師による健診(内科医2回、眼科医1回、歯科医1回)と、6月に全園児の尿検査を実施した。 ⑧年度当初に保育施設及び運営に関する事項を保護者に説明し、同意書を受領している。 ⑨保護者との連携においては、クラス懇談会(前期・後期各1回)・個別懇談会(年1回)を実施するとともに、日々においても日課ボードの活用や口頭にて様子を知らせ、情報の共有に努めた。 園と保護者協力のママプラス(音楽鑑賞)や保護者会主催のシャボン玉イベントを開催し保護者会が参画できる場を提供した。 保護者会長を中心に園との連絡・連携を常に行い、保護者会役員との話し合いを年数回実施した。 ⑩「夏まつり」は、保護者会役員に参加していただき開催した。また、節分の鬼を保護者(2名)にお願いした。「もちつき会」については、園児で楽しむ行事とした。 ⑪AED研修(22名)、東濃ブロック研修会(8名)、若草保育園との合同研修、岐阜県保育研究協議会研修会、多治見市が主催する各研修会、自主研修、虐待研修、子育て支援センター連絡会研修会、不適切保育(自主研修)についての研修等に参加し、資質向上に努めた(外部研修はすべてリモート研修) ⑫平和中学校生徒(2年生1名)、小泉中学校生徒(1年生1名)、多治見西高等学校生徒(3年生1名)、多治見工業高校生徒(2年生5名・3年生2名)の夏のボランティア体験の受け入れを実施した。 (4)子育て支援センターの実施に関すること ①一時保育 年間延べ723名 【令和6年度531名】 ②開館日数 年間244日 一般来館者総数3686名(幼児 名1993大人1693名) * 令和4年度より土曜日は閉館となった。 【令和6年度 開館日数 年間247日 2616名(幼児1462名 大人1154名)】 ③事業回数 年間56回 参加者総数1245名(幼児691名 大人554名) 【令和6年度 年間55回 966名(幼児528名 大人438名)】 ④園庭解放 年間156日 来所160名(幼児86名 大人74名) 【令和6年度 年間180日 来所189名(幼児117名 大人72名)】 (5)子育て支援センターの内容に関すること ①季節行事(織起こし、七夕会、夏祭り、ハロウィン会、ミニ運動会、クリスマス会、節分会、桃の節句) ②運動あそび(サーキットあそび) ③地域・多世代間交流(味噌汁づくり) ④食育(離乳食の話、給食試食会、さつまいもパイづくり) ⑤親の健康増進のための講座(骨盤調整) ⑥親のリフレッシュのための講座(ヘッドマッサージ) ⑦子ども講座(リトミック、手作りおもちゃ) ⑧家族参加の事業(ファミリー会親子ふれあい遊び)	仕様書以上 15点	・低年齢児、支援児の受入れ依頼に対し、責任感をもって協力的に対応している。 ・地域の公民館祭りや中学生の職場体験など、多世代との積極的な関わりを通じて、園児の成長を促し、健やかな保育の実施に繋げている。 ・安心安全な給食の提供を着実に実施するとともに、食育への取り組みを通じて健やかな子どもの成長につなげることができている。 ・子育て支援センターへの来館者、各種事業回数が昨年度よりも増加しており、多様な子育てニーズへ対応がしっかりと実施できている。	15点				
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	・子育て支援センターファミリー会(5月・11月) 父親の子育て応援企画として、休館日の土曜日に開催し親子のふれあいを中心としたプログラムを行った。 多治見市の花火大会に合わせて園庭開放を実施し、家族で安心して楽しめる行事とした。* 初の試み ・障がいがある方との交流 障害者福祉センターの利用者を保育園に招待し、利用者と5歳児がグループを作ってクイズやゲームで対抗したり、楽器演奏を聴くなどしたりして交流を行った。 ・地域福祉施設への訪問 4歳児が地域の福祉施設(サービス付き高齢者向け住宅)「チャッピー」に訪問し、歌を披露したり、触れ合ったりして、入居者の方と交流を行った。	期待以上 15点	・昨年度に引き続き、積極的な自主事業の実施により地域や障がい者等との交流を図る機会を提供し、園児にとつてよい経験となっている。	14点				
			①清掃		①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6	・保育室、調理室及びトイレ等の施設清掃(毎日) ・ガラスの清掃年2回、エアコンの清掃 年3回実施(うち業者による清掃1回) ・給食室換気扇の清掃 年4回実施(うち業者による清掃1回) ・給食室グリストラップの清掃 月1回実施(業者による清掃年1回) ・樹木の剪定 3回、園舎周りの除草 7回、園庭の清掃管理(月1回) ・施設周辺の清掃(毎日)	適正(普通) 2点	適正に実施している					

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実 施状況(10点)	②保守・点検	10	点、一部不備あり:4点、不備あり2点	・備品の点検(年1回実施) ・点検―職員による安全点検(月1回) 専門業者による点検(年1回) ・砂場の砂の補充(年1回9月) 抗菌剤による整備(年1回3月) ・非常通報装置点検(6回) 消防用設備点検(2回) 電気工作物点検(月1回)・総合点検(1回)は委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施している	10点
			③保安・警備			・夜間・休日館内警備については警備会社に委託し実施 ・日中は玄関を2重に施錠すると共に、設置された防犯カメラの稼働状況を確認して日々の防犯に努めた。 ・子育て支援センター来館者の入り口を保育園とは別とし、送迎時間以外は園庭へつながる通園用の門(2か所)については、9:30～15:30の間は施錠した。	適正(普通) 2点	適正に実施している	
			④小規模修繕			・年長児廊下ガラス、遊戯室ガラス修繕 ・床のささくれ、応急処置(鍵で削り、保護テープを貼った。) ・網戸張替え(5か所) ・乳児保育室前木製ベンチ修繕 ・調理室外出入口扉修繕(3回) ・調理室床修繕	適正(普通) 2点	適正に実施している	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・遊具の使用については使用前に毎回安全確認を実施している。 ・毎月園舎内外の安全点検と日常業務の中で危険箇所を把握し、修繕等必要な場合は速やかに対応している。その他必要に応じて市へ連絡し、対応・対策について協議している。 ・散歩や遠足コースの下見を必ず行うとともに、危険箇所を記入することで職員間の情報共有を必ず行っている。	適正(普通) 2点	適正に実施している	
			(2)その他管理業務の 実施状況(15点)			①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	
	②環境への配慮	・多治見市の環境方針に準じ対応している。紙はリサイクル紙とし、公文書以外は裏紙を有効活用している。 ・電子化を進め、ペーパーレスに努めている。 ・冷房、暖房は適切な温度に設定し、環境に配慮すると共に、こまめにスイッチを切るなど節電に努めている。また、扇風機等を同時に使用し、節電に努めた。 ・電力コンサルティングシステムを導入し、電気使用の可視化を行い節電に努めている。 ・飲食を伴う行事は、使い捨てではない箸や食器の持参で廃棄物の抑制に努めている(デイキャンプにて実践) ・廃材を利用したおもちゃ作りを提供している。(おやつのヨーグルトカップやプリンのカップ等も含めて) ・保護者の送迎時の駐車時には、アイドリングストップをルール化し、エンジンの停止を徹底している。 ・食器の洗浄には、環境にやさしい洗剤を使用している。 ・園児の手洗いには、天然成分の石鹸を使用している。		適正(普通) 2点	適正に実施している				
	③バリアフリー	・施設内は、段差のないバリアフリー構造であり、玄関から車椅子で入ることができる。園庭に出る際も、濡れ縁の両端はスロープになっており、車椅子でも出入りが可能 ・車椅子用(多目的)のトイレが設置されている。 ・障がいがある子、支援が必要な子もみなひとつのクラスでの生活を保障(インクルーシブ教育を推進)し、心のバリアフリーを目指す保育をしている。)		適正(普通) 2点	適正に実施している				
	④備品管理	・備品の点検を年1回実施。備品台帳に基づき管理している。 ・買い替えが必要な備品(10万円以上)については要望書を作成し、担当課に提出している。		適正(普通) 2点	適正に実施している				
	⑤個人情報保護	・個人情報は、施錠できるキャビネットに収納し管理している。 ・法人において「個人情報保護管理規程」を作成し、年1回職員研修を実施している。 ・個人情報が記載されている書類はブラインドフォルダーを使用し、関係者以外の目に触れないよう配慮している。 ・個人情報に関する事項について、園児の写真の掲載や使用については、保護者の同意を得て行っている。		適正(普通) 2点	適正に実施している				
	6	⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	・保育中に起きた事故や怪我においては速やかに保育幼稚園課に報告している。(事故報告書作成) ・令和7年度事故状況【通院を伴う怪我4件】 ・ヒヤリハットを活用し、職員間で共有することで事故防止に努めている。【ヒヤリハット件数20件】	事故なし・対応に不備なし 0点	事故等への対応については不備なし	0点	
3		当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入137,957,702円÷支出118,624,986円＝116%	105%以上 5点	116%と、105%を大幅に上回っている
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	・保育園、保護者会による意見ポストを常設している。 ・園からのアンケート実施。(運動会後・年度末)その後、保護者からの意見についての回答書を全保護者に配布した。 ・保護者懇談会を年2回実施し、直接保護者の話を伺う機会を設けている。(5月・2月) ・日々の連絡帳によるニーズの把握に努め、速やかに対応した。 ・保護者相談窓口を常時設けることで、個別での相談にも対応した。 ・子育て支援センターでは、新規利用者の拡大を目的として、乳児(0歳児)対象の行事を行った。【マンスリーフォトを毎月取り入れた】 ・保護者会役員との話し合いを設け、ニーズの把握に努めた。	期待以上 10点	・保護者からの意見、ニーズの把握に積極的に努めており、速やかに対応できている	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	・令和7年度の苦情は0件 ・苦情解決責任者(園長)、苦情受付担当者(主任保育士)、第三者委員を公示して保護者へ周知している。	期待以上 5点	適正に実施している	5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・今年度も意図的な異年齢交流(3歳～5歳児)に力を入れ、週2回朝のいきいきあそび、その他の活動や夏祭り、バイキング給食等を通して、「思いやり」や「あこがれ」の心の育ちに繋がった。 ・5歳児と障害者センター利用者とは直接交流できる機会を設けたり、4歳児が池田地区の老人福祉施設に訪問し、歌の披露や手遊びを一緒にい交流した。施設利用者の方の笑顔や「来てくれてありがとう」という温かい言葉をいただいたので、今後も継続して行い、園児に「相手も自分も大切にしよう」関わりを身につけていきたい。 ・毎日の給食を掲示している。また、「給食だより」にて子ども達に好評な給食やおやつレシピを紹介。食育活動では紙芝居や劇を取り入れるなどの子どもたちに分かりやすい方法で伝えたり、家庭でも食についての話に繋がるように、たよりや懇談会等で話をしていた。 ・調理員が園児とクッキングを行い、調理の楽しさを通して食育の推進に努め、家庭での食に対する興味の膨らみに繋がった。 ・園周辺の公道の清掃、環境整備に努めた。 ・年長児のお別れ遠足では、公共交通機関(電車やうながっぱバス)を利用し、切符の購入方法や公共の場でのマナーなど学べる機会となった。また、JRの職員さんとの交流する機会があり、地域の方との繋がりを体験することができた。	期待以上 15点	・異年齢交流や障害者センター等の訪問を通じて、こどもの成長を促すことができる。 ・調理活動や食育活動を通じてこどもの成長に繋げることができている ・公共交通機関を利用することで公共のマナーを学習する機会を設け、社会性を育むことができている。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	・報告書類等の提出は、期限を遵守し確実に提出した。	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	・多治見市の保育方針に基づき保育体制を整え、保育を実践した。(いきいき遊び、いきいき運動遊び、インクルーシブ教育等) ・市役所保育幼稚園課による訪問や教育委員会による訪問時において、活動の設定を工夫し、園児が主体的に取り組める内容とした。また、助言やアドバイスについては、その後の職員会議で共有し、実践した。(園訪問、巡回相談、教育長訪問等) ・市からの指示事項等については、きずなメールや園だよりを利用して保護者への周知に努めた。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計92点
									極めて良好

5. 来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項等、評価委員会において出された意見	・保護者としてはこまめに情報共有できて不安なく預けられており、担任の先生だけでなく園全体でこどもを見てもらっており大変ありがたい保育を行っている。 ・子育て支援センターについて、様々な事業を展開して利用率も高くなっており、訪れやすいセンターづくりの参考事例となる ・異年齢、インクルーシブ、支援センター等、多様な保育活動に取り組んでおりよい。公立園との連携も取れており、保護者対応もしっかりできている。 ・保護者評価が高いことを踏まえ、4(1)①については事務局案から1点加点して、合計点を92点とする。
--	---